

平成26年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年5月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フルヤ金属

コード番号 7826 URL <http://www.furuyametals.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古屋 堯民

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 榊田 裕之

TEL 03-5977-3377

四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第3四半期の業績(平成25年7月1日～平成26年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	21,320	0.2	892	△15.4	919	△13.4	△3,116	—
25年6月期第3四半期	21,275	△3.3	1,055	△29.5	1,061	△27.8	658	△11.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第3四半期	△435.42	—
25年6月期第3四半期	91.37	91.08

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年6月期第3四半期	22,193	13,923	62.6
25年6月期	28,098	17,316	61.5

(参考) 自己資本 26年6月期第3四半期 13,885百万円 25年6月期 17,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	40.00	40.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 6月期の業績予想(平成25年 7月 1日～平成26年 6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	△5.0	1,500	66.7	1,400	53.1	△2,800	—	△391.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年6月期3Q	7,265,212 株	25年6月期	7,265,212 株
26年6月期3Q	108,734 株	25年6月期	109,903 株
26年6月期3Q	7,265,212 株	25年6月期3Q	7,265,212 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. その他	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、円安に伴う原材料価格の上昇、近隣諸国との政治的軋轢、及び緊迫するウクライナ情勢などもあり、先行き不透明な状況であったものの、ユーロ圏経済の緩やかな持ち直し、米国経済の回復基調、及び中国の成長率の下げ止まりなどで外部環境が改善する中、円安による輸出採算の改善、鉱工業生産や設備投資の緩やかな回復、2020年の東京オリンピック開催決定による投資への期待感、消費税率引上げ前の駆け込み需要も相まって、回復基調が続きました。

このような経済環境の中、各種電子部品や半導体の需要は、スマートフォンやタブレット端末関連が好調で、リチウムタンタレート単結晶育成装置向けのイリジウムルツボや、半導体製造装置向け温度センサーなどの受注が堅調に推移しました。また、個人向けパソコン需要の減少から軟調に推移していたHD向けルテニウムターゲットの受注は、WindowsXPのサポート終了に伴う法人向けパソコン需要やサーバー向けの需要などから徐々に回復してまいりました。一方、LED関連では、取引先の設備投資環境が回復せず、当社主力製品であるイリジウムルツボの受注は、改鋳中心にとどまりました。こうした一部の貴金属製品市場の著しい環境悪化の継続に伴い、当第3四半期累計期間において、たな卸資産の評価減を実施し、貴金属相場的大幅な下落が認められた一部の貴金属については、特別損失に6,480百万円を計上いたしました。加えて、今後の受注増加に備えた先行コストが発生したほか、一部貴金属相場の急落により、利益率が悪化いたしました。

その結果、当第3四半期累計期間において、売上高21,320百万円（前年同四半期比0.2%増）、売上総利益2,347百万円（前年同四半期比7.7%減）、営業利益892百万円（前年同四半期比15.4%減）、経常利益919百万円（前年同四半期比13.4%減）、四半期純損失3,116百万円（前年同四半期は、658百万円の四半期純利益）となりました。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

①セグメント別の業績

[電子]

ガラス溶解装置向けの強化白金ルツボや、スマートフォンなどのノイズキャンセラーに使用されるリチウムタンタレート単結晶育成装置向けのイリジウムルツボの受注が好調に推移したものの、LED基板に使用される人工サファイア単結晶育成装置向けイリジウムルツボは、改鋳中心の受注にとどまったことから、売上高13,057百万円（前年同四半期比1.2%増）、売上総利益1,518百万円（前年同四半期比16.6%減）となりました。

[薄膜]

スマートフォンなどのタッチパネル配線向け銀合金ターゲットは、生産調整の動きから受注が伸び悩み、HD向けルテニウムターゲットは、法人向けパソコンやサーバー向け、及びカーナビ向けなどの需要から、受注回復途上にあるものの、個人向けパソコンの売上・出荷の伸び悩みに伴うHDDの在庫調整が長らく続いたことから、売上高4,072百万円（前年同四半期比15.5%減）、売上総利益275百万円（前年同四半期比15.5%減）となりました。

[センサー]

半導体製造装置メーカーからの受注環境が急回復してきており、半導体メーカーからの受注も回復してきたことから、売上高1,211百万円（前年同四半期比24.1%増）、売上総利益347百万円（前年同四半期比52.5%増）となりました。

[その他]

使用済み電極の回収精製や、化学・化成品プラント向けや有機EL向けの貴金属化合物の受注が好調に推移し、売上高2,979百万円（前年同四半期比15.5%増）、売上総利益206百万円（前年同四半期比22.2%増）となりました。

②海外売上

当第3四半期累計期間における輸出売上高は3,841百万円（総売上高に占める割合18.0%）となりました。地域別にはアジア向け輸出売上高2,415百万円（海外売上高に占める割合は62.9%）、北米向け輸出売上高1,363百万円（海外売上高に占める割合は35.5%）、欧州向け輸出売上高62百万円（海外売上高に占める割合は1.6%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は22,193百万円(前事業年度末比5,905百万円の減少)、負債は8,270百万円(前事業年度末比2,512百万円の減少)、純資産は13,923百万円(前事業年度末比3,393百万円の減少)となりました。

①流動資産

当第3四半期会計期間末における流動資産残高は11,623百万円となり、前事業年度末比9,683百万円減少いたしました。これは繰延税金資産が724百万円増加しましたが、たな卸資産が9,651百万円、現金及び預金が683百万円減少したことが主な要因であります。

②固定資産

当第3四半期会計期間末における固定資産残高は10,570百万円となり、前事業年度末比3,778百万円増加いたしました。これは繰延税金資産が1,724百万円、有形固定資産が、たな卸資産から機械装置への振替1,565百万円を含め、2,075百万円増加したことが主な要因であります。

③流動負債

当第3四半期会計期間末における流動負債残高は4,990百万円となり、前事業年度末比2,227百万円減少いたしました。これは設備関係未払金が387百万円増加しましたが、短期借入金が1,700百万円、買掛金が1,107百万円減少したことが主な要因であります。

④固定負債

当第3四半期会計期間末における固定負債残高は3,280百万円となり、前事業年度末比284百万円減少いたしました。これは長期借入金が303百万円減少したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第3四半期会計期間末における純資産残高は13,923百万円となり、前事業年度末比3,393百万円減少いたしました。これは繰越利益剰余金が3,404百万円減少したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、「平成26年2月7日付平成26年6月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」で発表しております計画から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,729	1,046
受取手形	109	119
売掛金	2,256	2,443
商品及び製品	2,635	1,188
仕掛品	1,861	1,387
原材料及び貯蔵品	12,139	4,408
前払費用	70	65
繰延税金資産	4	729
関係会社短期貸付金	58	87
未収消費税等	242	121
未収還付法人税等	190	—
その他	7	24
流動資産合計	21,306	11,623
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,446	2,596
構築物（純額）	62	53
機械及び装置（純額）	1,824	3,265
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	52	44
土地	1,612	1,612
リース資産（純額）	65	69
建設仮勘定	386	885
有形固定資産合計	6,451	8,526
無形固定資産	122	108
投資その他の資産		
投資有価証券	7	7
関係会社株式	117	117
保険積立金	13	18
長期前払費用	13	7
繰延税金資産	—	1,724
その他	66	60
投資その他の資産合計	218	1,934
固定資産合計	6,792	10,570
資産合計	28,098	22,193

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,937	1,829
短期借入金	2,000	300
1年内返済予定の長期借入金	1,679	1,865
リース債務	32	32
未払金	260	327
未払法人税等	—	16
賞与引当金	157	75
役員賞与引当金	25	—
設備関係未払金	32	420
前受金	14	30
その他	78	92
流動負債合計	7,217	4,990
固定負債		
長期借入金	2,794	2,491
リース債務	48	47
長期未払金	406	406
退職給付引当金	283	311
資産除去債務	15	15
繰延税金負債	8	—
その他	8	8
固定負債合計	3,564	3,280
負債合計	10,782	8,270
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,445	5,445
資本準備金	5,414	5,414
利益準備金	9	9
別途積立金	80	80
繰越利益剰余金	6,669	3,265
自己株式	△331	△328
株主資本合計	17,286	13,885
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△0	△1
評価・換算差額等合計	△0	△1
新株予約権	30	38
純資産合計	17,316	13,923
負債純資産合計	28,098	22,193

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)
売上高	21,275	21,320
売上原価	18,731	18,972
売上総利益	2,543	2,347
販売費及び一般管理費	1,488	1,454
営業利益	1,055	892
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	0	0
為替差益	41	39
助成金収入	28	—
雑収入	15	44
営業外収益合計	86	85
営業外費用		
支払利息	73	56
デリバティブ評価損	4	1
雑損失	2	1
営業外費用合計	80	59
経常利益	1,061	919
特別損失		
たな卸資産評価損	—	6,480
固定資産除却損	4	—
特別損失合計	4	6,480
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	1,057	△5,561
法人税、住民税及び事業税	391	11
法人税等調整額	7	△2,457
四半期純利益又は四半期純損失(△)	658	△3,116

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計
	電子	薄膜	センサー	その他	
売上高 外部顧客への売上高	12,900	4,818	976	2,580	21,275
セグメント利益	1,820	326	227	169	2,543

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

II 当第3四半期累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計
	電子	薄膜	センサー	その他	
売上高 外部顧客への売上高	13,057	4,072	1,211	2,979	21,320
セグメント利益	1,518	275	347	206	2,347

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

4. その他

(たな卸資産の固定資産振替)

当社は、当第3四半期会計期間において、当社が保有する貴金属地金について、利用実態により即した地金管理を行うため、管理体制を変更しました。その結果、一部の貴金属地金については生産設備等の一部と考えることがより実態に即していると判断し、平成26年1月1日に原材料及び製品の一部を固定資産に振替えております。

これにより、「原材料及び貯蔵品」が423百万円、「商品及び製品」が1,142百万円減少し、「機械及び装置」が1,565百万円増加しております。